

発掘調査現地説明会が開催されました

17世紀後半～18世紀前半の屋敷跡から当時の“暮らし”感じる



発掘調査現地説明会の様子。寒空のなか60人の参加者が集まり、スタッフの説明に耳を傾けました



紅皿

／紅は当時から貴重品であった



当時の生活をうかがうことのできる出土品の数々

城山北公園線2工区の道路拡幅工事にともない、かねてから松江市教育委員会により行われていた文化財の発掘調査の説明会が平成25年12月14日（土）に現地にて行われました。

134-1からは、17世紀後半～18世紀前半のものと考えられる建物の礎石を良好な状態で検出することができました。

この時期に該当する絵図では、松平期に筆頭家老であった大橋茂右衛門の与力（家臣）とされる「大橋伊左衛門」の屋敷地の北半分にあたることが分かりています。

今回の調査では、礎石の配列や三和土（たたき）の広がりから、上屋、下屋、縁側のほか、玄関や土間、木舞壁で仕切られた空間等が分かり、建物の利用状況が分かりました。

また、地中深さ30センチのところに直径6センチ程度の地鎮具と考えられる「鉄球」が発掘されました。これは度重なる災いを避けるために埋められたと推測されています。

同様の地鎮具は出雲地方で確認できました。

今回提示した計画案の詳細は、「大手前通り(都市計画街路 城山北公園線)」のホームページに掲載しています。

http://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_kendo/ootemae/

街路の計画に関するお問い合わせ、ご意見は、松江県土整備事務所 都市整備課（担当：森脇・神田）まで

用地・補償に関するお問い合わせ
松江県土整備事務所 用地スタッフ
TEL 0852(32)5762

設計・工事に関するお問い合わせ
松江県土整備事務所 都市整備課
TEL 0852(32)5755

まちづくりに関するお問い合わせ
松江市役所 都市整備部 都市計画課
TEL 0852(55)5373

平成25年6月より工事を進めていた昭和橋の南側（新設部）の架橋が完了しました。

現在は、電線類地中化工事等を行っており、今年の3月13日午後から現在の道路を南側に切替え北側（既設道路部）の架替えを進めます。切替にあたっては、図-1の通り車道等を変更します。

新しい昭和橋の橋げたは、「角太橋（かくたばし）」と呼ばれる工法を採用しました。この工法により、角型の鋼管を敷き並べてパネルにすることで、橋げたを薄くして、架替えに伴う周辺住宅地への高さの影響を軽減し、施工期間も短縮できました。なお、南側の新設部は一日で橋げたを架けることができました。

橋の完成は年末の予定です。工事期間中は、騒音や振動などによる近隣にお住まいの皆様の日常生活への影響をできるだけ抑えるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を頂きますようお願い申上げます。

昭和橋の架替工事

3月13日午後から南側（新設部）に切替予定

交通規制にご協力ください

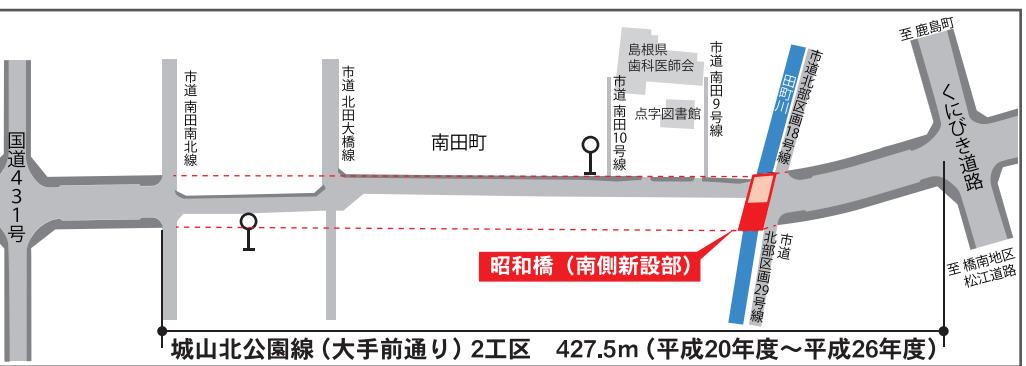
大手前通りみちだより

No41

発行所

松江県土整備事務所
tel 0852(32)5755

松江市役所都市整備部
都市計画課
tel 0852(55)5373



昭和橋工事の流れ

①南側拡幅部の上部工の工事をします。

～平成26年3月上旬

②南側拡幅部に交通を切り替えます。

平成26年3月13日午後

③北側旧橋部の架け替え工事をします。

平成26年11月【完成予定】



橋げたになる角型の鋼管



角型の鋼管を並べています



橋げたができました



橋げたを西側から見た状況

“大手前通りみちだより”はまちづくりに関する最新の情報を届けします！

南側拡幅部への交通切替 [図 - 1]

交通規制にご協力ください

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどお願いします。

